

はびきの市民大学だより

学長コラム【第18回】



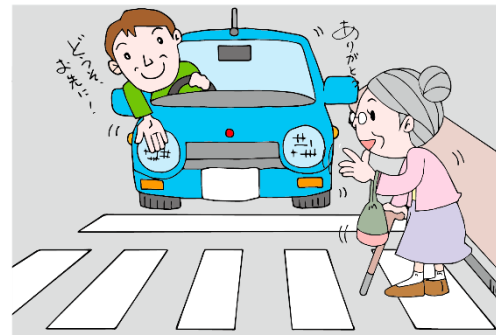
河内厚郎
(はびきの市民大学学長)

私の肩書は「文化プロデューサー」である。おそらく日本で一番早く名乗ったのではない。私のドメインもそう表示している。

私は二年前の三月、脳出血を発症して自宅で倒れた。クモ膜下出血と違って手術はできず、半身不随状態になり、高次脳機能障害の認定を受けた。以来、リハビリに励む毎日である。仕事では付き添い人のスタッフと電車に乗って出かけるが、スムーズに歩けないから外出時は杖を使わざるを得ない。現地では車椅子を使うこともある。

自分がこういう体になって初めて気がつくことが多々ある。一言でいえば、この地域は、この国は、本当に障害者にやさしい社会になっているのか、という疑問である。ほんのちょっとした段差でも往生する。バリアフリー未だし、なのである。まだエレベーターを設置していない駅も少なくない。

半面、人のやさしさに触れ、感動することもある。横断歩道に立つと、停まってくれるクルマが増えた。電車に乗ると席を譲ってくれる若い人が増えた。健康な人、さっさと歩く人を見て、当然ながら、うらやましく思う。しかし、こういう体になったからこそ生まれた発想もある。やりたいことはまだまだたくさんある。命永らえたことに感謝し、文化プロデュースの仕事を全うしていきたい。



もともと私の専門は文芸評論・演劇評論であり、「関西文学」編集長をした時期もながく、人脈は広がった。そこで、各分野を有機的につなぎ、あるいは融合させながら、次々と文化事業を企画していった。ひとつ成功すると、新しいアイデアが生まれ、人も集まってくる。あるとき日本を代表する文明批評家にして高名な劇作家でもある、山崎正和氏(昨年死去、平成最後の文化勲章受章者)が「演劇にしても音楽にしても、関西に専門家はいるがプロデューサー的な人材が少ない」と指摘され、私に期待している旨を発言したことがあって、それも励みになった。

コロナ禍はたしかに降って湧いた災難だが、一方では古市古墳群がユネスコの世界遺産に登録されるなど、地元の文化資源を見直す好機到来である。羽曳野にとっては貴重な機会であろう。誰でも入れる史跡とちがって陵墓の保全状態はよく、また一方、考古学が進んで古墳の築造順などには目安がつかようになってきている。日本国家の成立期についてはますます興味が高まっていくことになるろうし、またそうあってほしい。古代史に興味を持ちながら育った、地に足のついた少年少女が、地元にも、また地域外にも増えてくることを期待したい。

3月の聴講のご案内

学びたい講義を一つだけ、1日だけなら参加してみたい。そんなご希望にお応えします。好きな講義(日)を選んで聴講することができます。



③JAPANSTUDY「世界に誇れる日本料理」「日本の食文化」

1限 10:30~12:00

3/11(木)	陰陽五行説 P8 日本料理の歴史と変遷 P8~P9 焼き物の基礎 小テスト解答	料理研究家 近藤一樹
3/12(金)	正月の料理としきたり P32 煮物の基礎	
3/15(月)	五節句 P9~P11 日本の西洋料理史 P11~P12 揚げ物の基礎	
3/16(火)	日本の弁当 P29 東西食文化の比較 1・2 P30~P31 酢の物・和え物の基礎 小テスト解答	
3/18(木)	日本酒 P33 蒸し物の基礎	
3/19(金)	日本料理の器 1・2 P34~P35 ご飯物・麺物の基礎	
3/25(木)	日本料理の楽しみ方 P47~P49 肉料理の基礎 小テスト解答	
3/26(金)	日本料理店での振る舞い方 P50~P53 冬の食材・鍋物の基礎	
3/29(月)	日本料理のいただき方 P54~P58 箸のマナー P59 松花堂弁当・八寸の基礎	
3/31(水)	日本料理の盛り付け P44~P46 会席料理の基礎 小テスト解答	

⑦異国の文化との歴史的な邂逅(であい)-関西文化と感性のかたちをめぐって 【学長企画講座】

3/13(土) 13:00~14:30	対談:日本のミステリーが海外に「逆輸出」されるとき	ミステリー作家 有栖川有栖 はびきの市民大学 学長 河内厚郎
3/14(日) 10:30~12:00	3/29(月) 13:00~14:30 極西と極東の感性のかたち -司馬遼太郎の「愛蘭土」と「倭」への旅	広島大学大学院人間社会学研究科 教授 桑島秀樹
3/15(月) 13:00~14:30	京阪神のモダニズム住宅地-羽曳野モダニズム	武庫川女子大学生生活環境学科 准教授 三宅正弘
3/15(月) 15:00~16:30	京阪神のモダニズム建築を訪ねる	
3/27(土) 13:00~14:30	オープン・マインドでみた文化と風土 -小泉八雲がみた明治日本	島根県立大学短期大学部 名誉教授・ 小泉八雲曾孫 小泉凡

⑧災害を知り、災害に備える

【大阪市立大学提携講座】

2限 13:00~14:30

3/14(日)	実習で見る地震の発生と地盤の被害	大阪市立大学都市防災教育研究センター 特別研究員・理学研究科 名誉教授 中川康一
3/21(日)	災害想像力を高める -タイムライン防災(日黒巻)ワークショップ-	大阪市立大学都市防災教育研究センター コーディネータ 増田裕子

- 場所 LICはびきの 3階視聴覚室
- 申込 来館、電話、FAX
- 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで
※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。
- 聴講料 1講義につき800円(当日支払)

感染予防対策のため、講義室へ入室の際、検温いたします。(37.5度以上の場合、受講をご遠慮いただきます。)
手指消毒していただいた後、着席してください。
受講時はマスクの着用をお願いします。

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号(LICはびきの内)

【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分~17時30分(2階学習情報室 9時30分~16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始
ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づき適切に管理いたします。
※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

検索

